

## ■ 第62回住吉大社全国弓道大会

5月1日第62回住吉大社全国弓道大会が住吉大社特設射場に於いて開催され、参加者463名による熱戦が繰り広げられました。

開会に先立ち小笠原流三十一世宗家、小笠原清忠先生による「墓目」の奉射が、奈良時代の「朝服」を着装して行われました。

今年は、範士九段 吉本清信先生・範士八段 林 文夫先生・範士八段佐竹万里子先生・範士八段中野秀也先生の四人の先生による特別奉射が行われました。

競技の成績結果は次の通りでした。

### ☆団体

#### ◎学生の部

##### 【男子】

- ①甲南大(林拓弥・井出雅久・恒松洋吾郎)
- ②日高高校(西瀬太博・御影朋也・野村卓未)
- ③甲南大(田中彪太・伊藤伸幸・帆先 浩)

##### 【女子】

- ①甲南大(岩山穂乃花・春木かなえ・堀川早紀)
- ②同志社大(佐藤杏菜・野口恵璃子・弓立佳奈)
- ③信州大(浅原明日香・横江まどか・坂田あかり)

#### ◎一般の部

##### 【男子】

- ①岡山県(吉田章朗・古谷 勉・西村英信)
- ②長野県(市川隆光・根本充康・亀岡英司)
- ③静岡県(小林大地・小栗崇志・和田米夫)

##### 【女子】

- ①愛媛県(北風磨理・小早川貴子・原田喜美子)
- ②静岡県(中神沙奈美・大須賀裕喜・片山正美)
- ③岡山県(神尾沙織・大森洋子・赤澤和子)

### ☆個人

#### ◎学生の部

##### 【男子】

- ①御影朋也(日高高)
- ②石川満範(信州大)
- ③田中彪太(甲南大)
- ④恒松洋吾郎(甲南大)
- ⑤山本溪紫(田辺工)
- ⑥西瀬太博(日高高)
- ⑦明賀 巧(桃山大)
- ⑧森下大和(天理大)
- ⑨橋爪良弥(紀央館)
- ⑩濱平胤命(桃山大)

##### 【女子】

- ①坂田あかり(信州大)
- ②辻本真望(日高高)
- ③野口恵璃子(同志社)
- ④山崎麻未(天理大)
- ⑤中村晶子(京都外大)

#### ◎一般の部

##### 【男子】

- ①竹島昌典(大阪府)
- ②小原幸典(岡山県)
- ③吉田章郎(岡山県)
- ④野中秀治(大阪府)
- ⑤亀岡栄司(長野県)
- ⑥橋本幸誠(兵庫県)
- ⑦西川勇也(徳島県)
- ⑧出田一男(大阪府)
- ⑨西村英信(岡山県)
- ⑩根本充康(長野県)

##### 【女子】

- ①松口紀子(三重県)
- ②原田喜美子(愛媛県)
- ③神尾沙織(岡山県)
- ④有森照美(岡山県)
- ⑤中神沙奈美(静岡県)
- ⑥山崎涼子(和歌山県)
- ⑦小西充子(大阪府)
- ⑧小松正美(大阪府)
- ⑨三上祐子(滋賀県)
- ⑩北風磨理(愛媛県)



小笠原宗家の墓目奉射



府連会長矢渡



範士による奉射



個人優勝 竹島昌典

## ■ 大阪府連春季例会

5月12日万博記念公園弓道場に於いて大阪府連春季例会並びに全日本勤労者大会・都市間交流スポーツ大会選手壮行会が開催されました。

参加者120名。競技結果は次の通りでした。

#### ◎男子の部

- ①馬淵信幸(岸和田)
- ②菅野浩平(真和)
- ③神沼智裕(茨木)
- ④三原喜一(岸和田)
- ⑤山岸稔明(堺)
- ⑥勝山悦二(豊中)
- ⑦光成 一(万博)

#### ◎女子の部

- ①澤根規代(吹田)
- ②白石 唯(万博)
- ③岩田 花(清和)
- ④平野典子(茨木)
- ⑤小畑かがり(豊中)
- ⑥中村幸恵(高槻)
- ⑦松島由紀(万博)
- ⑧林 直子(万博)

## ◎男子称号者の部

- ①渡士定次(岸和田)・②岡田茂光(大ガス)  
③吉山伸二(枚方)・④野中秀治(万博)

## ◎女子称号者の部

- ①山田直美(高津)・②及川悦子(高津)  
③小西充子(万博)

## ◎団体の部

- ①豊中市弓道協会・②岸和田弓友会  
③大阪高津弓友会



壮行射礼

## ■岸和田市春季総合体育大会(弓道)

5月19日岸和田市総合体育館弓道場に於いて平成25年春季総合体育大会(弓道)が開催されました。参加者95名。結果は次の通り。

## ◎高校生の部

- ①久禮大弥(岸産)・②平野勇太(英真)・③樋田荘一(英真)

## ◎一般女子の部

- ①白石 唯(万博)・②坂口美沙(朝日)・③新谷幸子(岸和田)  
④吉田恭子(岸和田)・⑤福田明子(高津)・⑥大島幸子(吹田)  
⑦井ノ阪ふみ子(岸和田)

## ◎一般男子の部

- ①大楽真健(万博)・②馬淵信幸(岸和田)・③宮原亮平(英真)  
④山下隆三(朝日)・⑤三原喜一(岸和田)・⑥春田和夫(堺)  
⑦中尾邦廣(加支多) (記事：塚本正雄)

## ■全日本弓道選手権選手一次選考会

5月26日吹田市立武道館弓道場に於いて全日本弓道選手権大会出場選手の一次選考会が開催されました。一次選考の結果は次の通りでした。選考された選手の皆さんは6月23日の決定選考会に出場します。

## ◎男子 8名

野中秀治(万博)・山中敬雄(豊中)・二宮 一(高槻)  
佐藤誠一(茨木)・蔵屋文彦(堺)・梶川和男(朝日)  
下田隆司(朝日)・服部健史(高槻)

## ◎女子 8名

阪口裕子(万博)・播本直美(高津)・小松正美(朝日)  
篠田淳美(堺)・中村真由美(高津)・山田直美(高津)  
北川浩子(豊中)・松本利津子(高槻)

## ☆ 大阪府弓道連盟の歩み ☆



岡本 要範士  
(鐘紡弓道部)  
大阪府連第六代会長

浦上先生のお父さんが、読売新聞の楠木のあるあたりに道場を持っておられたが大阪では弓道の発展がはかばかしくないと見越して、東京へ引っ越しをされた。

その時は栄先生はまだ小さかった。時に、先生のお宅に伺うと、良くその話が出た。楠木があると言うのは北区

大融寺町あたりか。大阪には、浦上先生のお父さんからの流れはあまりないようである。片山さんが鐘紡に教えに来られたのは大正10年頃かと思う。岡内先生が来て居られたのは何時ごろか定かではない。片山さんが大阪で弓を始めたのは、大正の初めころだった？ 生魂神社の道場を「山の道場」と言った。今ある球技場の塀際にあった。幹部は浅間尚三さんの弟さん清水三星(ちょんびき屋)・三好清一さん。上田さんは、「四上会」の会長。「四上会」とは、四段以上のこと。四段は錬士につながった。曾根崎の道場は、朝日新聞の事業所道場であった。大阪の弓道が一つにまとまったのは戦後のことで、全国弓道連盟が出来ると同時にそうだった。それまでは群雄割拠と言うか各道場の指導者がめいめいに勝手にやっていた。大阪が一つにまとまってから徐々に形を整え国体などで活躍するようになってきた。

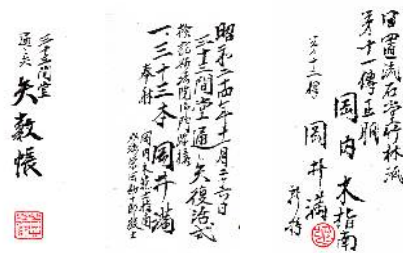
※ちょんびき屋

射的屋 揚弓場 矢場

※岡内先生

岡内 木範士 日置流石堂竹林派 堂射(通矢)  
(明治41年5月範士・大正14年4月没)

遠藤嗟峨夫範士(平成16年12月没)が大正12年4月、13歳の時に師事した先生



三十三間堂通矢矢数帳(写)